

自衛官への暴挙発言に対する議員辞職を求める決議

我々、基地と共存共栄する小松市議会としては、令和 8 年 6 月 15 日の参議院決算委員会における古賀千景参議院議員の発言に対し、強く抗議する。

今回の発言は、自衛隊を志す若者や現職自衛官、自衛官の家族に対する重大な偏見であり、国家と国民のために命をかけて守る自衛官に対する冒瀆でもある。古賀議員は委員会質疑の中で、「自衛隊に行く子どもたちは経済的に厳しい子どもたちが行く。豊かな子どもたちは自衛隊とかにはならない」との趣旨の発言は、その後に発言を撤回し謝罪されたことだが、国権の最高機関である国会の場において、全国民に向けて発せられた発言は極めて重く、そのことによって傷つけられた自衛官、自衛官 OB・OG、自衛官の家族、そして自衛隊を志す若者たちの名誉が回復されていない。

特に、家族に対する思いを察するに、極めて無礼な発言であり、言語道断である。自衛隊には全国から多様な背景を持つ者が集い、それぞれが国を守るという責任と誇りを胸に服務しておられます。自衛官という職業は、家庭の経済状況によって選ばれるものではなく、自らの意思と覚悟によって選ばれる公務である。

古賀議員の今回の発言の自衛隊への進路選択を経済的事情と結び付けて論じることが、自衛官の人格と名誉を傷つけ、その志を矮小化するものであり、断じて看過できない。併せて自衛官の使命感と誇りを傷つけるだけでなく、自衛隊や国民に対する誤った固定観念を社会に広げかねないものであり、極めて不適切な発言である。

よって、我々は、古賀議員の早期の議員辞職を求める。

令和 8 年 6 月 29 日